

報道関係各位

同志社女子大学広報部広報室広報課

学生と大学とのつながりを維持する、 AIチャットボット「Chat VIVI」本格導入！

—検索🔍ではなくAI、疑問を10秒解決—

本学では、本年4月にプレリリースしたAIチャットボット「Chat VIVI」をリニューアルし、本格導入しました。4月以降、7月末までに延べ10,000件のアクセスがあり、コロナ禍でキャンパス入構に制限がある状況下において、学生にとって24時間365日いつでも、どこからでも気軽に正確な情報を入手し疑問を解決することができるツールとして不可欠なものとなっています。特に本学の「Chat VIVI」は、今回のリニューアルによって、1文字入力するごとに瞬時に質問候補が提示される「サジェスト機能」を搭載、300件を超えるコンテンツからメニュー選択・会話形式で回答できるなど、国内の大学ではまだ導入事例が少ない中で高度な機能を有するAIチャットボットの先行事例と言えます。スピーディな対応と正確性にこだわった「Chat VIVI」によって、学内の相談窓口を訪れることができない学生をリモートサポートし、様々な不安を解消するだけでなく、大学とのつながりを維持する一助になると期待しています。また、今後も利用状況を分析しながら対応件数を増やし、より精度を高めていく予定です。詳細は別紙にてご確認ください。

マスコミ各社様には本学での取り組みについてご理解頂きたく、ご案内申し上げます。

Chat VIVI へのアクセスはこちら⇒



「Chat VIVI」導入の意義

1. 新型コロナウイルス感染拡大予防のための対策として、学生をリモートサポート

学生はスマートフォンさえあれば、秋学期の授業開始に向けて夏期休暇中に各自で必要な準備ができるため、秋学期の授業開始時（9月下旬）、事務室窓口への殺到（三密の発生）を回避できます。

また、サジェスト機能により即座に疑問が解決するだけでなく、さらに他の選択肢も閲覧することで、関連情報を知ることできます。

2. 教職員の業務効率化

これまで電話やメール、窓口で行われていた定型の質疑応答を「Chat VIVI」に移管できます。また、担当者の経験や業務担当年数に依存しない安定したサービス提供が可能となります。併せて、学生が各種手続きを行うためのWeb申請システムと組み合わせることで、申請情報が自動でデータ化されるため、効率的かつ迅速な運用が可能となります。

「Chat VIVI」リニューアルのポイント

スマートフォンのユーザインターフェースを優先し、視認性を高め、直感で操作できるサイト構成。

機能紹介

①メニュー選択による誘導、豊富なコンテンツ

300件を超えるコンテンツから、メニュー・会話形式で回答

②サジェスト機能

1文字するごとに瞬時に候補を提示できるスピード対応

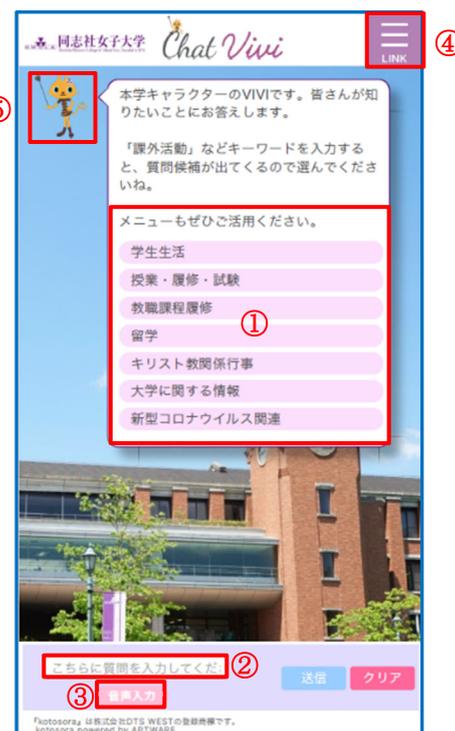
③音声入力

④リンクボタン設定

学内システム（授業支援システム、Office365等）へのリンク設置

⑤回答内容で変わるアイコン

16種類のアイコンで親近感の持ちやすいデザイン



問合せ：同志社女子大学学生支援部学生支援課 担当：今村
TEL：0774-65-8414 e-mail:himamura@dwc.doshisha.ac.jp

同志社女子大学広報部広報室広報課／広報課長 渡邊 一郎
TEL 0774-65-8631
FAX 0774-65-8632
e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp

○本リリースは、京大記者クラブ、京田辺・綴喜記者会の加盟社にお送りしています。